



観音寺市議会だより
Kanonji City Council No.7 2015.11.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします

平成27年度一般会計補正予算を可決
平成26年度決算を認定
一般質問から見える市の課題

11月20日 市民フォーラムを開催

可決された主な条例・補正予算

●観音寺市民会館の設置及び管理に関する条例(議案第70号)

新しい市民会館の運営規定決まる

(平成29年度開館予定)

設置目的「人が集い、憩い、交流することにより、地域に根ざした個性豊かな文化の創造と振興をめざすとともに、豊かな心をはぐくむ社会の実現に寄与する」、その他利用料金、利用方法などを定めている。



●市個人情報の保護に関する条例の一部改正(議案第69号)

マイナンバー制度の開始又は導入に伴い、市条例を改正整備

5億1,412万3千円増額補正(一般会計)内容

●コンピューターシステムの改訂関係 8,773万9千円

マイナンバー制度に対応するため、担当5課のシステムを改訂

●漁港災害復旧事業(伊吹漁港)

7,849万9千円

台風11号(7月17日)の強風による波浪で被災した護岸(L=181m)を復旧するための設計・工事費



●のりあいバス運行事業の再編整備検討

772万2千円

平成29年度に予定している、運行形態見直しのため、現在の利用状況などの調査委託料



平成27年第4回定例会は、9月1日から28日までの28日間の日程で開かれた。一般質問は7・8日で、13名が47項目にわたり一問一答形式で市政について質した。
当局から提出された議案は、専決処分の承認1件、同意2件、条例関係7件、一般会計及び特別会計4件の補正予算、その他4件が提案された。議案は各常任委員会に付託し、審査をおこなった。また、平成26年度一般会計・特別会計12件の決算認定が提案され、決算審査特別委員会において審査し、最終日に原案どおり認定された。
議員提出議案は、最終日に会議規則の改正1件を提案し、可決となった。

議員提案により改正された規則

市議会会議規則の改正(議提議案第5号)

地方議会への女性参画を促進するため、議員が出産のため議会を欠席する時の規定を新たに定めた。



石山 秀和

戦争体験記の保存について

答 弁 今年度中に「戦争体験記編集
観音寺市実行委員会」（仮称）
を立ち上げ作成に取り組み

【質問】 戦後70年不戦の誓いを再確認する意味で、遺族をはじめ市内の各種団体の皆さんが戦争体験冊子や記念誌を発刊している。戦争という悲惨な歴史的事実をしっかりと伝え、残そうとしている関係団体とどのように連携や支援をされるのか伺う。

【答 弁】 悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、平和の大切さを伝えることは、私たちの責務と考えられる。市においては、今年度中に市自治会連合会などの関係団体と連携を図りながら、戦争体験記の作成に取り組んでいきたいと考えている。

のりあいバスについて

答 弁 平成29年度のダイヤ改正に向け、三豊
市との相互乗り入れや提案のデマンド
交通システムと合わせ調査検討を行う

【質問】 本格的ダイヤ改正と提案のデマンド交通システムなどの検討状況について伺う。

【答 弁】 今年度、バス停ごとの乗車数、乗降位置調査などを行い、長時間乗車の解消、路線間のスムーズな乗継の実現に向けて、運行形態の見直しを実施する。以前から提案のデマンド交通システムも住宅や道路状況、利用人数、経費面などを踏まえ、検討する。三豊市コミュニティバスとの広域連携についても、三豊市と協議を進めており、相互乗り入れにより、有益な公共交通網が築けるよう、同時調査を実施する。



諺問 茂

スマートウェルネス シティの実現に向けて

答 弁 全庁的な取り組みを進める

【質問】 少子高齢化、人口減少社会においては、高齢になっても健康で元気に暮らせること自体が「社会貢献である」といえる。

高齢化、人口減少が進んでも地域住民が身体面の健康だけでなく生きがいを感じ安心安全で豊かな生活を送るためには、そこに暮らすことで健康で幸せになれる「まち」スマートウェルネスシティが求められている。

本市においてもスマートウェルネスシティの実現を目指す考えがあるのか伺う。

【答 弁】 健康を取り巻く環境は、少子高齢化やライフスタイルの多様化により大きく変化している。食習慣や運動不足が原因となる生活習慣病が増加し、医療費・介護給付費が増加している。

このような状況を踏まえ、市においても、さまざまな健康づくり施策を実施している。担当部局だけでなく全庁的な取り組みを進め、生涯を通じた健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいく。



安藤 忠明

危機管理について

答 弁 台風時には水防本部を設
置して対応

【質問】 このところ、台風が多いようだが、災害時の対応と台風11号の被害について伺う。

【答 弁】 今年8月末までに16個の台風が発生しており、平年に比べ多いようである。そのうち、11号が本市の上空を通過した。7月16日午後1時に暴風波浪警報が発表され、水防本部を設置。市職員を動員するほか、消防団や海防団に出勤していただき、巡視や土のうを追加作製した。午後3時半には高潮警戒地域に避難準備情報を、午後5時には土砂災害を警戒して山間部に避難準備情報を発令して避難所10カ所を開設し、職員を配置した。その後、暴風による被害情報が入り始めて、各担当部署が個々に対応した。翌17日早朝、避難者がいなくなった避難所から順次閉鎖。市水防本部もすべての警報が解除された10時過ぎに解散した。被害については、軽傷者が1名、住宅11棟が一部損壊、非住家建物28棟が一部または全部損壊した。農産物の被害は水稲や果樹など37ヘクタール、園芸・畜産施設60カ所。また、農地被害5カ所で550万円、農業用施設被害4カ所で約740万円。水産関係では、漁港1カ所で5,000万円であり、水産関係施設11カ所で6億円の被害状況となっている。



大平直昭

合併処理浄化槽の維持
管理費に補助金を

【質問】 全国多くの自治体で、生活排水による河川などの水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図ることを目的として、合併処理浄化槽の適正な維持管理を行う人に対し、維持管理に係る費用の一部を補助する事業を行っている。(三豊市3万円) 他市の制度を調査研究し、事業化が望まれるが。

【質問】 今後、都市基盤となる下水道整備及び下水道普及率の向上を勘案する中で、他市の事例を研究し検討していく。

デマンド交通(タクシー)導入を

【質問】 デマンド交通は、のりあいバスに比べ、より多くの方が利用できる。先進地の調査研究を行い、十分な検討が必要。今後の予定は。

【質問】 今年度、のりあいバスの運行状況の調査を行い、その調査結果を基に、平成29年度の経路などの改正に向けて、デマンド交通導入を含め運行形態の見直しを十分に検討していく。(デマンド交通導入自治体へ視察などを実施予定)



▲デマンドタクシー



井下尊義

のりあいバスの運行に
ついて

【質問】 香川西部養護学校に通っている生徒の中には電車で観音寺駅まで来て駅から歩いて学校に行っている生徒がいる。のりあいバスの路線を、朝夕だけでも何とかならないか。

【質問】 「名ばかり営業所」と、という言葉があり実質的には営業していないのにもかかわらず支店・営業所として入札・見積もりの参加申請するようなケースがあると聞いたが「入札参加資格実態調査」は行われているのか。また、その対応はどのように考えているのか。

入札制度について

【質問】 現在、実態調査は行ってないが、そのような指摘があれば本市の参加資格審査要綱に基づき、該当企業などに事情をお聞きするなど、実態に応じた対応をする。

【質問】 今年度より、バス停ごとの乗車数など運行形態全体についての調査を実施予定である。改定については、香川西部養護学校の経由を含め、交通弱者の方々の意見や要望を踏まえた上で考えていく。



伊丹準二

防災について

【質問】 避難経路の確保について、近い将来予想される大地震の際、自主防災会ごとの避難経路は確保できているのか。

【質問】 災害時の避難経路は、地域の実情に応じてそれぞれの自主防災会などが事前に検討し、災害に備えていたきたい。整備の必要な箇所などについては、適宜対応したい。

【質問】 小学校で経験した課外活動種目が、中学校の部活動になく、不本意な部活動を選択する生徒がいる。また、部活動を担当する教員も種目によっては経験の浅い場合があると聞く。生徒、教員にとつて、将来につながる部活動にすべきと思われるが、今後について伺う。

部活動について

【質問】 現状を把握・適宜対応したい

【質問】 現状の中で取り組んでほしい



篠原重寿

若者の声を政治に活かす

答 弁

小・中学世代から、政治への関心を高めることは重要

【質問】 公選法改正により新たに有権者となる18・19歳への投票啓発と政治意識高揚策は。

【答弁】 市のホームページ、広報紙、選挙時のチラシなどにより、啓発周知する。高校生に配布する「政治参加教育の副教材」の活用により、主権者教育の充実や、選挙で各校代表を選出する高校生議会（県議会主催）の実施に協力する。また、出前講座でも対応したい。

市職員の健康管理は、市民サービス向上に

答 弁

法に基づき、ストレスチェック検査体制を整える

【質問】 労安法の改正で、50人以上の事業場は、医師・保健師などによるストレスチェックが義務化された。働きやすい労働環境整備の対策は。

【答弁】 昨年度より、臨床心理士のカウンセリングを実施。法改正への対応のため、医師や専門機関などについての調査をしている段階である。



友枝俊陽

市道の維持管理と予算の確保は

答 弁

効果的に修繕するため修繕計画を策定する

【質問】 ①市道の陥没箇所やひび割れが多くみられるが、年間どのくらいの箇所を修復し、費用がかかっているのか。

②路面全体の損傷が激しく路面舗装工事を行った箇所と費用はどのくらいなのか。

③今後の維持管理計画と予算確保については、どのように考えているのか。

④観音寺大野原線は国道と花稻工業団地、山田産業団地を結ぶため、大型車の通行が多く舗装の損傷が激しいが修繕の計画は。

【答弁】 ①平成25年度は240カ所、26年度は190カ所、27年度は100カ所、28年度は90カ所、29年度は80カ所であった。

②打ち替えによる修繕は平成25年度は65カ所、26年度は約4、200万円、27年度は49カ所、28年度は約3、000万円であった。

③現在、路面性状調査を行い損傷の大きい路線から国庫補助事業により順次修繕を行っている。修繕予算の平準化を図り、多くの路線を効果的に修繕するには修繕計画を策定する必要があると考えている。適正な予算確保に努めていきたい。

④市道観音寺大野原線の当該区間は舗装の損傷が大きく、路面性状調査の結果も事業採択基準を超えているため、平成28年度から国庫補助事業で修繕する予定である。



高橋照雄

台風11号による被害状況は？

答 弁

公共土木施設ほか、農産物、個人施設が被災

【質問】 さる、7月16日、17日にかけて襲来した台風11号による本市の被害状況と災害対策基本法との関連について伺う。

【答弁】 台風11号により公共土木施設のほか、農産物や個人施設が被災している。そのうち、今回、市が復旧すべき施設としては、伊吹島の北浦から東部にかけて、約180メートルの護岸が被災している。現在、国の災害認定を受けべく申請中であり、9月10日に行われる災害査定に向け、査定設計書の作成、海岸保全区域への編入手続きなどの作業を進めている。事業確定後は早期に復旧工事に着手したいと考えている。「災害対策基本法」との関連については、同法は災害対策全体を体系化し、総合的かつ計画的な防災行政の整備、推進を図ることを目的として制定されたもの。災害復旧については、第87条で施設管理者の実施責任を、第96条では、事業費に対する国の負担について規定されており、具体的には別に法令で定めることとされている。





安藤 康次

まち・ひと・しごと・創生総合戦略
において市の独自の施策について

答 弁 子育て環境や教育環境の
充実を図る

【質問】本市「総合戦略策定方針」のなかで「市の独自性が出るような戦略を策定する」とあるが、独自性が出るような戦略とは何か。

【答弁】これまで豊かな自然や住みやすい環境を活かし、子育て環境の充実に取り組み、子育てしやすいまちづくりを進めてきた。これからも引き続き、子どもたちがいきいきと成長できるよう子育て環境や教育環境などの充実を図る施策を進める。また、市内の中小企業者などに対して経営面、技術面などの支援や企業同士のマッチングを目的にした企業説明会を開催するなど、中小企業者の育成や新規就農者への支援の拡充を図り、雇用の創出や若者の定住促進に努める。さらに、移住してきた方の意見など外部の目線で市の特性を見つめ直して、それを活用しつつ独自の性のある施策に取り組んでいきたい。



藤田 均

虐待の急増など、保健
師の増員を！

答 弁 保健師の増員は、今後の情
勢・住民ニーズから検討する

【質問】虐待相談の対応件数は、平成25年82件、平成26年126件で急増中。この相談への保健師の配置は平成25年までゼロ。平成26年度1名、今年度は2名配置。保健師の配置が遅れているのではないか？

国は「効果的で質の高い健康福祉サービスを提供するため、保健師の計画的確保・配置に努める」と言っているが本市の計画は？また、今後求められる統括保健師の育成配置の計画は？

【答弁】現在の配置は18名で、交付税措置人数とほぼ同数。今後の保健師の配置や確保は、社会情勢や住民ニーズなどに応じて検討していく。さらに統括保健師の育成も必要と考えている。

三豊総合病院のリウマチ・こう
原病内科がなくなる？

答 弁 来年度から再開に向け
取り組んでいる

【質問】三豊総合病院のリウマチ・こう原病内科が8月末で閉鎖となり、利用している年間約600人が困っている。市の医療体制の整備充実はあるか？

【答弁】科の休止であり、病院としてはこれまで以上に努力し、来年度から専門医の確保を目指している。市民が安心して暮らせるよう地域医療の中核病院として取り組まれている。



大久保隆敏

市道（生活道路）の舗
装改修について

答 弁 緊急性を確認し、予算確
保に努める。

【質問】合併後、新庁舎の建設など、大型事業が順調に進んでいるが、その代償として市道の整備が遅れている。

3年から5年間程度は、予算を拡大し、集中的に舗装の改修を行うべきであると考えているが、市の考えを伺う。

【答弁】市道の舗装は、30年以上経過した路線もあり、状態としては経年劣化や自動車の通行により損傷し、修繕を要する路線も多くなっている。集中的な投資による修繕も必要と考えるが、修繕計画を策定したうえで、実施することにより、予算の平準化を図ることも必要である。

要望に対しては、現地の状況により、緊急性を確認のうえ、地元と協議し、維持管理に支障とならないよう、予算確保に努める。



▲市道の舗装工事



五味 伸亮

夕日百選を活かした周辺整備とファミリープール跡地の有効活用を提案

答 弁

貴重な意見として参考に

【質問】高室地域全世帯を対象にファミリープール跡地利用についてアンケートを配布していた。回収率も高く、関心の高さが伺える。主に高室の自然に則した意見が多く出された。

その内容を踏まえ、取りまとめた案（高室プラン）を今回提案させていただきたい。内容は、「夕日を観る街、かんおんじ」のキャッチコピーにふさわしい有明浜周辺の整備である。海岸線に沈む壮大な夕日や景色には心を奪われそうになり、市民の憩いの場となっている。

原点回帰で、自然との共生こそ田舎の最大の魅力であり、豊かな自然を次世代につなぐことは私たち大人の責任だと考える。

鳴き砂、海浜植物、キャンプ場、トイレ、ベンチ、防犯灯の整備・再生など、夕日百選を活かした周辺整備とファミリープール跡地の有効活用という「高室プラン」が最も適していると考え提案するが、市の考えを伺う。

【答弁】ただ今の提案に半分以上は近い考えを持っている。議員が高室地区の皆さんにアンケートを取られた結果を踏まえての「有明浜全体の自然を生かした夕日のビューポイントとしての整備を」という提案については、今後の検討において貴重なご意見として参考にさせていただく。

掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ●電気柵の安全対策について ●プレミアム商品券の引き換え状況について ●子育てと介護のダブルケアの相談窓口について ●学童保育について ●観光行政について
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●学校のトイレについて ●運動器検診について ●道の駅について
安藤 忠明	<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生について ●教育について ●新庁舎の周辺整備について ●臨時給付金について
伊丹 準二	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者施策について ●教育委員会制度改革について

氏 名	質 問 件 名
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのある子どもへの支援の充実について ●ファミリーサポートセンターについて
高橋 照雄	<ul style="list-style-type: none"> ●観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について ●財政について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●教員の多忙化解消について ●市の美術品の管理と活用について ●マイナンバー制度による市役所の準備及び本市の小規模業者への影響について ●小規模業者の育成と振興について ●戦後70年戦争体験記を残す取り組みについて
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ●室本港津波高潮対策について ●県道21号線高屋八幡区間における街路灯整備について ●障がい児支援について ●観音寺市人口ビジョンと中小企業振興について



決算審査特別委員会

平成27年9月9日(水)～11日(金)開催

平成26年度各会計決算認定に関する12議案を付託し、審査した。

その結果、原案のとおり認定すべきものと決定した。

認定第1号 平成26年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について

主な意見

人権課、教育関係などの人権啓発の部分の中で、特定の団体に補助を出すことに不合理を感じる。また、マイナンバー制度の導入には、問題点がある。そして、消費税の市民負担についても反対である。

採決

賛成多数で認定

認定第2号 平成26年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第3号 平成26年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号 平成26年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号 平成26年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出

決算認定について

認定第6号 平成26年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第7号 平成26年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第8号 平成26年度観音寺市粟井財産区特別会計歳入歳出決算認定について

認定第9号 平成26年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について

認定第10号 平成26年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第11号 平成26年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

採決

全会一致で認定

認定第12号 平成26年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

採決

剰余金の処分について原案可決、決算について認定

総務常任委員会

9月17日開催

市民部1議案、政策部7議案、総務部3議案。全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設経済常任委員会

9月16日開催

建設部1議案、経済部2議案、上下水道部2議案。全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

文教民生常任委員会

9月15日開催

健康福祉部4議案、教育委員会2議案。全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。

行政視察の報告

総務委員会

日時 平成27年7月8日(水)～10日(金)

場所・事項 宮城県仙台市（「ソーシャル・イノベーション（社会変革）創生特区」、起業支援センター「アシ☆スタ」について）

- 震災を契機に企業マインドが大きく変化。「自分の能力を活かしたい」から「他人・地域への貢献」の比率が強くなった。平成26年「アシ☆スタ」設立、相談・情報提供、書類の受理及び審査業務をワンストップで行う。また、事業継続のサポートに力を入れている。開業件数でも、平成22年の21件から平成26年の59件に大きく伸びた。

場所・事項

福島県福島市（中心市街地活性化のまちづくりについて）

- 平成22年3月から27年3月（5カ年）第一期中心市街地活性化基本計画において、市と中心市街地活性化協議会が一体となって事業を推進する。ふくしまの個性と魅力を発信する生活都心づくりを基本コンセプトとして①集客拠点づくりと回遊環境の向上②人がくらし交流できる生活環境の向上を図ってきた。第一期計画の課題を踏まえて、第二期計画を策定。①コンパクトシティの観点から「選択と集中」による重点整備②人口減少や高齢化の進展に対応した「持続可能なまちづくり」の推進③都市機能の増進及び経済活動の向上を「総合的かつ一体的」に推進。

場所・事項

福島県会津若松市（スマートシティー推進事業 まち・ひと・しごと創生総合戦略について）

- 平成15年に「福島復興は会津から」と再生可能エネルギーの豊富な地域（バイオマス発電・水力・風力・太陽光など）の特徴を生かし、富士通との連携、ICT専門の会津大学などの人材を活かして「スマートシティー」の取り組みを行う。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、市の今までの取り組みや地域特性を踏まえて、地方創生に資する事業を取りまとめたものである。



▲会津若松市

場所・事項

福島県郡山市（シティープロモーション推進事業について）

- 平成21年1月「シティーセールス基本方針」策定、「東北のウイーン 楽都 郡山」を都市イメージとして、情報発信、知名度向上、誇りや愛着心の向上、特性を活かした魅力ある資源の創出に取り組んでいる。それらを踏まえて、博報堂（東北）に委託して「シティープロモーション事業」を展開している。

参加者

委員長 安藤康次 副委員長 豊浦孝幸
委員 高橋照雄 大賀正三 篠原重寿 石山秀和 井上浩司

建設経済委員会

日時

平成27年7月6日(月)～8日(水)

場所・事項

静岡県富士市（道の駅「富士川楽座」について）

- 道の駅は全国に1,059カ所あり、その中で集客率は日本一である。地産地消をコンセプトに掲げ、大手の類似施設と違う独自性のある運営が行われている。
- テナント、フードコートなど従業員のほとんどが地元の方で運営されており、200人以上が雇用されている。
- 指定管理料（補助金）は無く、営業利益の半分を市に返している。
本市の道の駅とは規模が違うものの、地産地消、地場産業の積極的な参加は地域の道の駅でも参考にすべきである。



▲富士市

場所・事項

静岡県静岡市（耐震補強事業について）

- シェルターや耐震事業においても早くから積極的に取り組んでいる。
- ハード事業だけでなく、耐震対策の出前講座や耐震診断のPRを行い、耐震診断11,000件、補強計画4,200件。

場所・事項 愛知県大府市（健耕サポーター事業について）

- 現在、受け入れ農家は28戸、サポーター登録者は約91人。ボランティアで農家の手伝いをしていいる。なかには、将来、農業を職業にしたい人や、年配者の余暇を利用したい人などさまざまである。

場所・事項 愛知県岡崎市（岡崎ビジネスサポートセンター Oka-Biz について）

- 新規で事業を立ち上げたい人や、今まで事業をされていた人々のアドバイスや、セミナーを通して岡崎市の商工業の推進を図っている。
- 中心市街地に85件ほどの空き店舗があり、そこでの創業を促し、市街地の活性化につなげている。
- トレンドやコーチングのスキルを高めるために、他県、他市の事例や、さまざまなノウハウを研修している。

参加者 委員長 井下尊義 副委員長 五味伸亮

委員 秋山忠敏 大矢一夫 詫間 茂 伊丹準二 藤田 均

文教民生委員会

日時 平成27年7月1日(水)～7月3日(金)

場所・事項 滋賀県東近江市（こころとからだの健康づくり事業について）

- 大学との連携事業として、うつ病と糖尿病についての研究を行ったことがきっかけで、こころとからだのアンケート調査を40歳～64歳に実施。うつ傾向にある者は心拍数が低いことから、運動を促すために幻のラジオ体操第三（心拍数消費の平均値が110以上と高い）を取り入れ、庁舎で職員や来庁者が毎日行っている。
- 糖尿病の重症化を防ぎ、医療費の適正化を図ることが目的で、広島県呉市にて実施されていたプログラムを東近江版として実施している。



▲東近江市

場所・事項 京都府城陽市（教育委員会改革について）

- 「開かれた教育委員会」の実現を目指し、「教育委員会評議会」を新設した。また、「定例教育委員会」開催広報の徹底や「教育委員協議会」の公開及び市議会議員と教育委員の交流会の開催等に取り組んでいる。

場所・事項 滋賀県草津市（放課後等デイサービス、保育所等訪問支援について）

- 学校に在籍する障害児に対して、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって放課後や長期休暇の居場所づくりを推進し、障害児の自立を促進している。
- 発達支援センターが包括的・継続的に児童を支援する体制が構築されている。
- 各児童に合った指導法により、本人（保護者）が希望している集団への参加と円滑な社会生活の導入ができるよう支援を行う。保護者への継続的な支援を行っている。

場所・事項 兵庫県明石市（明石市立高齢者大学あかねが丘学園（廃校跡地利用）について）

- 小学校の閉校に伴い、廃校利用として平成12年に現在の場所に移転。自ら学ぶことの喜びを体得し、充実した老後の生きがいを作り出す。さらに連帯の環を広げ、地域づくりにも役割を果たすことを目的とした生涯学習の場として活用している。

参加者 委員長 友枝俊陽 副委員長 篠原和代

委員 大久保隆敏 安藤忠明 大平直昭 立石隆男

審議結果

議案の審議結果 平成27年第4回(9月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
認定第2号	平成26年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成26年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第4号	平成26年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第5号	平成26年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第6号	平成26年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	平成26年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	平成26年度観音寺市粟井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	平成26年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第10号	平成26年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第11号	平成26年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第12号	平成26年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第68号	専決処分の承認について(平成27年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算(第1号))	承認
議案第69号	観音寺市個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第70号	観音寺市民会館の設置及び管理に関する条例の制定について	//
議案第71号	観音寺市職員の再任用に関する条例の一部改正について	//
議案第72号	観音寺市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	//
議案第73号	観音寺市粟井財産区管理会委員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	//
議案第74号	観音寺市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	//
議案第75号	観音寺市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	//
議案第76号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第77号	町及び字の区域の変更について	原案可決
議案第78号	土地改良事業計画について	//
議案第79号	観音寺市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	同意
議案第80号	香川県市町総合事務組合理約の一部変更について	原案可決
議案第81号	三観広域行政組合の共同処理する事務の変更及び三観広域行政組合理約の一部変更について	//
議案第82号	平成27年度観音寺市一般会計補正予算(第2号)	//
議案第83号	平成27年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第84号	平成27年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第85号	平成27年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	//
議提議案第5号	観音寺市議会議事規則の一部改正について	//

●賛否の分かれた議案

議案名等	議員名																	議決結果				
	豊浦	篠原	藤田	五味	友枝	井下	立石	伊丹	詫間	篠原	大久保	高橋	安藤	大賀	秋山	大平	井上		大矢	石山	安藤	
	孝幸	和代	均	仲亮	俊陽	尊義	隆男	準二	茂	重寿	隆敏	照雄	康次	正三	忠敏	直昭	浩司	一夫	秀和	忠明		
	民政	民政	共産	立志	民政	民政	民政	民政	友志	社民	立志	立志	民政	民政	民政	友志	友志	友志	公明	公明		
認定第1号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

※ 議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※ ○…賛成 ●…反対



市民フォーラム2015 / 観音寺市議会主催

今年、地域の「食」がテーマです。驚異的な売り上げを誇る「道の駅」の仕掛人を迎え、皆さんと一緒に観音寺の埋もれた食の宝を再発見し、そして全国へ！ 多くの方のお越しをお待ちしております。

11.20

fri 18:30~20:30

会場 観音寺市役所 2F会議室

第一部 基調講演

「地域のお宝、見つけ方・磨き方・広め方」

年間140万人が訪れ、売上高約10億円!!

山口県萩市 道の駅「萩しーまーと」
駅長 中澤さかな

1957年/滋賀県生まれ、関西学院大学(水産地理学専攻)卒業
1980年/㈱リクルート入社、住宅情報事業部で編集長を歴任
2000年/生活情報・関西事業部長を最後に早期選択定年退職
2000年/全国公募で道の駅「萩しーまーと」駅長に就任。全国でもトップクラスの道の駅に育てる。
現在約20の自治体で道の駅関連の事業を手掛ける。活動は「カンブリア宮殿」(テレビ東京)等で紹介されるなど、多くのメディアに取り上げられている。

【現在の役職】
地域活性化伝道師(内閣府)、地域力創造アドバイザー(総務省)、地産地消の仕事人(農林水産省)、6次産業化ボランティアリーダー(農林水産省)、販売請負人(水産庁) 他



我がまちの 「美味しいお宝」再発見。

みんなの力で全国へ!

第二部 パネルディスカッション

【パネリスト】

越田 達夫 川鶴酒造㈱ 専務取締役
藤田 圭造 藤田㈱ 代表取締役
矢野 匡則 ㈱三豊セゾン 代表取締役
横内十三枝/横内 繁美 豊浜町梨加工研究会 初代会長/現会長
白井 秀樹 ㈱志らい 代表取締役 道の駅「とよはま」指定管理者

【アドバイザー】

中澤さかな
道の駅「萩しーまーと」駅長(基調講演 講師)

【コーディネーター】

石山 秀和 (観音寺市議会)

お問い合わせ: 観音寺市議会事務局 TEL 0875-23-3913 (平日 8:30~17:15)

視察に来てくれました

- ◆平成27年8月10日 香川県丸亀市 市庁舎整備等特別委員会他…………… 18名
「市庁舎整備及び市民会館整備について」
- ◆平成27年8月11日 高知県香南市 総務常任委員会…………… 9名
「新庁舎概要視察」

17日	11日	10日	9日	7~8日	1日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議

12月定例会 の予定

広聴広報委員会

委員長 石山 秀和
副委員長 篠原 和代

篠原 重寿
大平 直昭
友枝 俊陽
五味 伸亮
藤田 均

編集後記

爽やかな秋晴れの中、休日のために聞こえていた笛や太鼓の音、にぎやかな獅子舞、勇壮な太鼓台など、それぞれの地域のお祭りを楽しめたことでしょうか。最近、朝夕の寒暖の差を感じ、温かい食べ物に恋しい冬の訪れを感じるようになりました。

観音寺市議会の任期も折り返しを迎えようとしています。まだまだ多くの課題を抱えています。これからも、市民の皆さまの代弁者として、私たちにできることを考え行動していきたいと思っております。今後ともご指導をお願いいたします。



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。